



津奈木中
学校便り
No. 8

夢実現・挑戦

令和5年11月29日
津奈木町立津奈木中学校
校長 高橋 裕二

イチロー選手の思い、自分は大丈夫か!!

メジャーリーグと言え、現在は大谷翔平選手をすぐに思い浮かべますが、10年前までは日米通算4千本安打達成など、イチロー選手が大活躍していました。

先日、イチロー選手率いる野球チームと高校野球女子選抜の試合をテレビで観ました。50歳になるイチロー選手は、投手で138km



【文化祭・3年発表】

のスピードボールを手加減せず女子選手に投げ、また笑顔も見せずに真剣勝負で戦っていました。3年目になる女子高校野球の強化プログラムの一環で、憧れの東京ドームで開催しているそうです。

さて、そのイチロー選手が、「以前はある程度のレベルまで、監督が厳しく指導して上げてくれた。しかし、現在は自分で自分を律し、自分で努力しなければならない。ある意味、選手にとって過酷である。」と語っています。

ところで、11月中旬旬に定期テストがありました。生徒の皆さんはどうでしたか。今回からワーク等は前週までに提出させ、1週間前からはできるだけ



【文化祭・合唱コンクール1年】

宿題は出さないようにして、生徒の自主的なテスト勉強時間を確保しました。テスト勉強が計画通りにできた人と、逆に余りできなかった人もいたのではないかと思います。

実は、イチロー選手が心配していたのは、このことです。自己管理（努力）をできる人とできない人では、スポーツや学力等で差がどんどん広がります。人から指導や管理されるのは誰もが嫌ですが、自分一人で取り組むことは、とても難しいことです。

先生方には、生徒の主体性を大切にしながらも、生徒を「鍛える」ことをお願いしています。「大きな声で挨拶・返事」「学力の基礎基本の徹底」など、中学生の時期に生徒が自主的にできるようになるまで、何度も繰り返し「鍛えて」いきたいと思ひます。

夢実現は、「何を、どれだけ学んだか」

3年生は、いよいよ進路決定の時期となりました。これまでは、みんなと一緒に小学校、中学校と進んできましたが、今回は自分で進む高校等を決めなければなりません。どこの高校の、どの学科を選ぶかで、その後の人生が大きく変わります。

人生は何度でもやり直しできますが、時間は限られています。将来、どのような職業に就き、どのような人生を送りたいか、つまり将来の生き方をしっかり考えて、進路を決定してほしいです。

また、「好きこそ物の上手なれ」と言葉がありますが、自分が好きなことや興味・関心があることなども考えて選択してください。

大学時代とっていた新聞に、「いつ、どこで学んだか」より「何を、どれだけ学んだかが大切である」と書かれていました。私は地元の高校に進みましたが、どこの高校に行っても、皆さんの意欲と努力次第で、夢は実現できると思ひます。

県駅伝大会、男子11位・女子14位と健闘

11月10日、天草市で熊本県中体連駅伝大会が、男女それぞれ28チーム参加して開催されました。先日のテレビ放映を見られた方も多しと思ひます。

男子は、1区3年淵上君が3位と好走し、その後も3年林君が区間6位、2年津々木君が区間4位の走り、チームを5位まで上げました。



女子も、1区2年齋藤さんが6位の好スタートを切り、【県駅伝・5区2年眞野さん】その後も安定した走りでタスキをつなぎました。男女ともに、大規模校にもひけを取らず大健闘でした。

11月11日、熊本県PTA研究大会が、つなぎ文化センターなど、3会場で開催されました。

アトラクションでは、3年生が文化祭や郡音楽会に続いて合唱を披露してくれました。その後、津奈木小の地域や企業、行政と連携したサラ玉の収穫から販売までの取組の発表がありました。津奈木小・中学校のPTAの皆様、大会当日までの準備など、大変お疲れ様でした。

さて、当日、会場に入るなり、私が20代の頃勤務した松橋中野球部の教え子が声をかけてきました。「津奈木町であるので、先生に会えると思ってました。30年振りです。」と話す笑顔は、中学生当時のままでした。当時、厳しく野球を指導していましたが、私の勤務校を新聞で確認していたと思うと嬉しくなりました。帰りにふれあい祭りにも立ち寄り、充実した一日となりました。

